



TAKASAGO

高砂市 議会だより

発行
高砂市議会

〒676-8501 高砂市荒井町千鳥1-1-1

TEL(079)442-2101内(4330)

(079)443-9051(直通)

編集:市議会だより編集委員会

第**142**号

2007年(平成19年)6月



2007年
3月
定例会



主な内容

- ② ページ
3月定例会のあらまし
議案概要
- ③ ～ ⑥ ページ
3月定例会の日程表
代表質問
- ⑦ ～ ⑩ ページ
一般質問
- ⑪ ページ
総務常任委員会視察報告
文教厚生常任委員会視察報告
建設経済常任委員会視察報告
- ⑫ ページ
意見書・人事案件・選挙

3月定例会のあらまし

3月定例会市議会は平成19年2月23日に開会し、1日会期延長を行い3月28日までの34日間開催しました。

冒頭、市長から施政方針並びに提案理由の説明がありました。

まず平成18年度関係では一般会計をはじめとする各会計の補正予算について提案があり、審議を行った結果、補正予算全議案を可決しました。

次に第3次高砂市行政改革大綱改定版実施項目の方針(案)、高砂市定員適正化計画、高砂市中期財政計画、高砂市国民保護計画について市長から報告がありました。

各会派を代表して7名が市長の施政方針に対する代表質問を行い、一般質問では7名の議員が、市政全般に対する質問を行いました。(質問要旨は別掲)

平成19年度関係では特別職の定数についての条例、職員の勤務時間についての条例、国民健康保険条例、医療費助成に関する条例等の各条例議案と一般会計をはじめとする各会計の予算議案が提案されました。

本会議での代表質問、一般質問、議案質疑を踏まえ、委員会ではさらに深い議論を行い、最終日には提案された議案に対しての採決を行いました。(結果については別掲)

最後に阿弥陀小学校改築、高砂西港盛立地のPCB汚染土に係る技術検討、ごみ焼却施設に係る作業環境測定結果について市長から報告があり閉会しました。

議案概要

可決した条例

- 高砂市副市長定数条例
- 高砂市職員定数条例等の一部を改正する等の条例
- 高砂市部及び室設置条例の一部を改正する条例
- 高砂市職員の勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例
- 高砂市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 高砂市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 高砂市医療費助成条例の一部を改正する条例
- 高砂市立斎場及び葬祭事業に関する条例の一部を改正する条例
- 高砂市行政財産使用料条例の一部を改正する条例
- 高砂市建築手数料条例の一部を改正する条例
- 高砂市市税条例の一部を改正する条例
- 新築の住宅等に対して課する固定資産税軽減に関する条例の一部を改正する条例

可決した予算(平成19年度)

- 平成19年度高砂市一般会計予算
- 平成19年度高砂市国民健康保険事業特別会計予算
- 平成19年度高砂市下水道事業特別会計予算
- 平成19年度高砂市老人保健医療事業特別会計予算
- 平成19年度高砂市介護保険事業特別会計予算
- 平成19年度高砂市水道事業会計予算
- 平成19年度高砂市工業用水道事業会計予算
- 平成19年度高砂市病院事業会計予算

主要な新規事業(平成19年度予算)

- ファミリーサポートセンター
- 児童手当の拡充
- 休日保育
- 後期高齢者医療事務
- 乳幼児医療費助成の拡充
- 児童の体力・運動能力向上
- 放課後子どもプラン

- あらい浜風公園維持管理委託
- 携帯・IP位置情報通知システム整備
- ハザードマップ作成
- 本庁舎等の耐震診断
- 学校施設の耐震診断
- 青色防犯パトロール
- JR宝殿駅バリアフリー化
- 高砂港駅跡地整備事業
- 惣毛池改修

その他の議案

可決

- 市道路線の認定
- 市道路線の変更
- 兵庫県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約の変更
- 加古川市、高砂市宝殿中学校組合規約の変更

同意

- 清掃業務の一部を委託するにつき同意を求めること
- 監査委員を選任するにつき同意を求めること

当選

- 兵庫県後期高齢者医療広域連合議員の選挙

請願・陳情

採択

- 兵庫県教育委員会に対し「『高校教育改革第2次実施計画』は地元自治体・住民の意見を十分に聞き、合意のもとで策定することを求める意見書」の提出を求める請願

不採択

- 全国一斉学力調査への参加をやめることを求める陳情書
- 個人情報保護の点で大きな問題を持つ全国一斉学力テストについての意見書提出を求める陳情書
- 高砂市教育予算の拡充を求める陳情書

平成19年3月定例市議会日程表

会期 2月23日(金)～3月28日(水) 34日間

2月23日(金) 開会、市長の施政方針並びに提案理由の説明

2月24日(土) 休会

2月25日(日) 休会

2月26日(月) 休会

2月27日(火) 休会

2月28日(水) 休会

3月1日(木) 質疑(補正関係分)

3月2日(金) 質疑(補正関係分)

3月3日(土) 休会

3月4日(日) 休会

3月5日(月) 各常任委員会審査(補正関係分)

3月6日(火) 各常任委員会審査(補正関係分)

3月7日(水) 委員長報告、討論採決(補正関係分)

3月8日(木) 代表質問

3月9日(金) 諸報告

3月10日(土) 休会

3月11日(日) 休会

3月12日(月) 質疑(当初関係分)

3月13日(火) 質疑(当初関係分)

3月14日(水) 質疑(当初関係分)

3月15日(木) 質疑(当初関係分)

3月16日(金) 質疑(当初関係分)

3月17日(土) 休会

3月18日(日) 休会

3月19日(月) 一般質問

3月20日(火) 特別委員会、各常任委員会審査(当初関係分)

3月21日(水) 休会

3月22日(木) 各常任委員会審査(当初関係分)

3月23日(金) 各常任委員会審査(当初関係分)

3月24日(土) 休会

3月25日(日) 休会

3月26日(月) 各常任委員会審査(当初関係分)

3月27日(火) 各常任委員会審査(当初関係分)

3月28日(水) 委員長報告、討論採決(追加議案関係分)、諸報告、閉会

代表質問

市長の施政方針に対する代表質問は、高砂市議会では一会派40分となっております。紙面では一部しかお伝えすることができません。よりくわしい内容をお知りになりたい方は市立図書館や各公民館に備えられている「兵庫県高砂市議会定例会会議録」に質問と答弁のすべてが収められていますのでご利用下さい。なお、インターネットでも会議録の閲覧検索が可能ですので、ご利用下さい。

施政方針について

政和会 入江 正人

地方分権をめぐる現状認識について

問 国の三位一体改革による税源の移譲、補助金改革が加速され、今後財源等をめぐって国と地方との激しいせめぎ合いが予想されるが、この流れに対応できるのか、今後の分権改革に対する市長の見解をお示しください。

答 事務事業の見直しをはじめ、定員適正化計画の推進、給与の適正化等さらなる改革達成を実施することにより、徹底した歳出削減、財政の健全化を図ることができるとは思いますが感じています。

問 市民サービスコーナーのありかたについて、「検討」の時期は過ぎ、決断、説得、実行の時期が来ていると考えますが、市長の見解をお聞かせください。

答 市民サービス向上委員会を設け、休日・夜間窓口の検討、ワンストップサービス、公共サービス業務全体を見直す取り組みを早急に行いたい。

問 給与制度の見直しの内容について具体的にお願いします。また、今後の財政事情と照らし合わせた財源の確保の観点から人件費削減への考えをお答えください。

答 19年度中に管理職についての評価システムを導入していき、施設の統廃合により、枠組みにおいても人件費についての抑制を図っていきたい。

問 医師の撤退、それに伴う収入の落ち込みが発生し、17年度は約4億6千万円以上、18年度には約7億円の赤字が生じようとしている。現況を打破しうる早急なる対応が迫られております。県立病院移転新築に伴う東播磨医療圏という広域医療を視野に入れ、特色を出し運営して行く体制を進めていかなければならないと考えますが、いかがでしょうか。

答 内科あるいは消化器、循環器、糖尿、代謝あるいは腎臓透析療法を中心とした特化をして、地域医療チームの編成の中で、他の外科、整形外科、形成外科も考えていきたい。

問 土地開発公社(特に工業公園)の見直しについて

答 賃貸期間満了時の売却に向け企業に働きかけ、同時に、できるだけ早期に売却ができるように積極的にセールスに参りたい。

問 県の技術検討専門委員会の結果報告を受けて、市議会、事業者、各種団体、国、県これらが一体となって検討協議できる機会をつくっていかなければならない。

問 新図書館建設について

答 民間施設や他施設との複合も考え、早急に取り組み所存であり、できるだけ金のかからない方法で建設できないか模索したい。

問 学校施設の整備計画について

答 まずは子どもたちの安心・安全を最優先に取り組んでいきたい。

問 新ゴミ焼却施設について

答 かし担保検査の結果、炉の停止期間等を踏まえ、今後バブコック日立とかし担保期間の延長を協議したい。

◆市民、議会と向き合って議論を深めなければならぬ時期にあると考えます。特に次項の件について市長の取り組み

む姿勢、考え方を示してください。

問 土地開発公社(特に工業公園)の見直しについて

答 賃貸期間満了時の売却に向け企業に働きかけ、同時に、できるだけ早期に売却ができるように積極的にセールスに参りたい。

問 PCB固化汚泥盛立て地について

答 県の技術検討専門委員会の結果報告を受けて、市議会、事業者、各種団体、国、県これらが一体となって検討協議できる機会をつくっていかなければならない。

問 新図書館建設について

答 民間施設や他施設との複合も考え、早急に取り組み所存であり、できるだけ金のかからない方法で建設できないか模索したい。

問 学校施設の整備計画について

答 まずは子どもたちの安心・安全を最優先に取り組んでいきたい。

問 新ゴミ焼却施設について

答 かし担保検査の結果、炉の停止期間等を踏まえ、今後バブコック日立とかし担保期間の延長を協議したい。

市長の施政方針について ほか

政友会 生嶋 洋一

◆財政の健全化への積極的な対応について次の項目をどのように考えているのか。

問 抜本的な経常経費の削減の遂行について

答 1年かけて骨格を見直し、縮小すべきものを縮小というような形での取り組みをしたい。

問 公債費負担適正化計画の策定について

答 それぞれの会計を見直して今の時代即応できるような体制づくりを考えている。

問 保有地処分の推進について

答 できるだけ早い機会の処分が必要と考えている。

◆大規模事業計画の財政計画をどのように立案するのか。

問 阿弥陀小学校改築について

答 しっかりとした予算組みができた時点ではっきりとした回答をさせていただきます。

問 新図書館の建設について

答 複合の施設で建てるべきであり、公共の施設と一緒に建てるのか民間の施設と一緒に建てるのかも視野の上で立って臨みたい。

◆高砂まちづくり構想の推進による将来のまちづくりについてどのように考えているのか。

問 都市計画の明確化による事業の推進について

答 高須松村線の暫定事業は必要な道路であり、播磨臨海道路との位置づけも考え合わせて推進をしていくべき。

問 高砂西港PCB固化汚泥対策について

答 県と十分な折衝をしながら再整備を行うよう努力していきたい。

問 関西電力高砂発電所の跡地企業対策について

答 今後、県、関西電力に対して、積極的に申し入れを行っていききたい。

◆高砂市の拠点事業の推進についてどのように考えているのか。

問 JR曾根駅整備について

答 平成22年度をめどに整備計画の策定を進めていききたい。

◆2010年を見定めた福祉政策の充実をどう考えているのか。

問 高齢者対策について

答 高齢者対策福祉基金の活用による福祉事業の推進について、早期に活用方法について検討をしていきたい。

◆学校教育の充実をどのように考えているのか。

問 健全育成及びいじめ対策について

答 いじめのチェックリスト等を作成し、学校等へ配付している。また、教育委員会の指導主事が指導助言を行い、力量を深めている。

問 通学路安全対策について

答 子どもたちの見守りというところで、地域住民等非常に多くの方々のご協力を得ているところである。

問 学校図書の実用について

答 図書購入の予算を増やしつつあるところである。

◆農業、商業政策をどのように考えているのか。

問 ため池、農業用水路の整備について

答 ため池の整備等々を行うていく。安心・安全という観点で取り組むべき事業と位置づけを行っている。

施政方針について

民主クラブ 横山 義夫

マニフェストの実施状況の公開について

問 市長選で掲げられたマニフェストの内容は、19年度予算に全て盛り込まれていますか。また、マニフェストの具体的な検証はどのように実施されますか。

答 実施計画を作成し、実施する旨を各局課長に通知しており、スケジュールにすべて盛り込まれている。また、年度末に関係部局から報告を受けて、進捗状況を検証していきたい。

第3次総合計画について

問 平成13年度に策定された総合計画は、基本計画は5箇年、実施計画は2箇年毎に見直しを実施するとなっておりますが。

答 3年でローリングということで、3回の見直しを行い、13年から18年の6年間の進捗状況を今回19年の1月に見直した集約結果を検証し、中期財政計画も踏まえ、19年度から21年度の実施計画を今年度中に策定し、新たな行政

改革の解決に向け取り組んでいきたい。

問 新たに「危機管理室」を設置されるとの事ですが、ワンストップサービスや市民サービスコーナー等の総合的な検討を含め、縦割り行政の是正をどのような機構に基づき実施されようとしていますか。今後の「市役所としてのべき姿」は。

答 従来の組織を横断する事務対応を目的とした組織のあり方は当然検討していきたい。市民にとってわかりやすく、総合的、機動的に施策を実行できる組織づくりを目指して機構改革を行っていききたい。

地球温暖化問題について

問 高砂市においても平成15年12月に地球温暖化防止実行計画が策定され、削減目標として「平成18年度までに二酸化炭素排出量を平成12年度を基準として5%削減に努めます」とありますが、地球温暖化防止実行計画の進捗状況は。また、環境省は国民的

答 高砂市においても平成15年12月に地球温暖化防止実行計画が策定され、削減目標として「平成18年度までに二酸化炭素排出量を平成12年度を基準として5%削減に努めます」とありますが、地球温暖化防止実行計画の進捗状況は。また、環境省は国民的

プロジェクトの「チーム・マイナス6%」に取組んでいます。広く市民にも情報発信をすべきと考えますが。

問 新しい焼却炉ができ、ごみの焼却が増えたことから地球温暖化防止実行計画とは逆に二酸化炭素排出量が増加している。これに対しては、ごみの削減に努め、ごみの減量化について市民にも訴えていきたい。また、チームマイナス6%の取り組みを市として今後どうしていくのかという事を早急にお知らせしたい。

答 新しい焼却炉ができ、ごみの焼却が増えたことから地球温暖化防止実行計画とは逆に二酸化炭素排出量が増加している。これに対しては、ごみの削減に努め、ごみの減量化について市民にも訴えていきたい。また、チームマイナス6%の取り組みを市として今後どうしていくのかという事を早急にお知らせしたい。

謡曲「たかさご」について

問 謡曲「たかさご」は、い

答 謡曲「たかさご」は、い

問 謡曲「たかさご」は、い

格差社会とロストジェネレーションについて 市民ネットワーク 鈴木 利信

臨時の任期付き職員採用など、ロストジェネレーション等へのワークシェアリングを。

兵庫県のキャリアプログラムの推移を見ながら、今後検討をしていきたい。

市民病院の病棟閉鎖などによるダウンサイジングと内科等に集中し、入院基本料7対1加算による特化の検討を。

2年毎の診療報酬改定の動向、施設基準、看護基準、各種加算適用の見直し、人員配置、病棟の管理についての検討を行い、ダウンサイジングの対応をしていきたい。また、7対1診療は導入していききたいが、暫定的な措置であり、ベッドが埋まってきた段階で、省かざるを得ないと考える。

他市よりも10%以上多い一般行政職管理職の削減をすぐに実行すべき。

参事職、次長職、副課長等の中間的な職の削減を図る。

モラルハザードによる滞納は、しっかりと対応すべきだ。また、多重になっていく場合などしっかりと把握すべきでは。支払い能力のある場合は名前の公表等を検討すべきでは。

市長の施政方針について

公明党 橋本 芳和

市長の政治家としての基本姿勢は

(坂口元厚労相のハンセン病訴訟におけるエピソードを紹介)坂口元厚労相の言葉の「私は政治家である前に、一人の人間であり医師である」に対して市長の感想は。

本当に身の引き締まる思いで聞かせていただき、まだまだ政治家というようにことまでも至らぬ未熟者であるけれども、精いっぱい努めていきたい。

福祉子育て教育優先の市政について

地域福祉計画は地域の実態に即した地に足の着いたものとするべき。

現在、地域住民懇談会を向調査、策定委員会の設置、パブリックコメントの実施も行うこととしている。

支えを必要とする側の意見も取り入れるべき。

19年度に設置する策定委員会の構成委員として、障害者団体、福祉施設、子育てグループ等の代表者の参画を予定させていただいている。

子育て支援の「虐待110番」夜間も対応するものか。

緊急連絡に備えて、中央子ども家庭センター(明石市)の音声案内、警察の電話案内を行いたい。

こんにちは赤ちゃん事業についての市の取り組みは、こんにちは赤ちゃん事業については、検討課題ということにさせていただきたい。

つどいの広場事業についての市の取り組みは。

週3日程度、子育て支援センターで開設する。市民病院の公共的使命の観点から、経営健全化のための基本的な考え方を聞きたい。

市民病院、市全体が一枚岩になって、健全化に当たる体制づくりを考えていきたい。

市民のための市役所の再編

危機管理室の役割について

不当要求対策の指導、職員員の安全対策に対する助言、市民の防犯対策の指導、関係機関との連携をする。

一日も早い総合窓口の設置を、休日夜間の窓口サービスを、税、料等の納付相談もぜひ行ってほしい。

業務のスピード化を図ることも一つの目的としての導入を図りたい。

市民福祉の充実と生涯健康づくりについて

放課後子ども教室と児童保育の連携をはかるべき。

教育委員会、福祉を超えて対応を十分に精査しながら取り組んでいきたい。

小学校就学前までの医療費の無料化をはかるべき。

今の財政状況の中で、難しいというご理解をいただきたい。

人間教育の推進と人権、平和の尊重について

教育の目的は、あくまでも子どもたちの幸福の実現のためにあるべき。いじめはいかなる理由があっても、いじめる側が100%悪いのだという考え方をしっかりと根付かせるべき。

あらゆる機会を通じて強く生きることを呼びかけをしていきたい。

市長の退職金について、社会通念上で論じられていくが、どう考えるのか。

退職手当組合に対しては既に要望をしており、積極的に取り組みたい。

施政方針全般について

平成会 鈴木 正典

深刻な医師不足を打開し、安心して暮らせる市民病院を

日本共産党 小松 美紀江

問 高砂工業公園への企業進出は順調に進んでいるが問題は工業公園を結ぶ南北道路が未だに開通していない事である。通勤時間帯は渋滞が新幹線近くまで伸びている状況である。あらい浜風公園への進入路でもある南北道路の早期開通が望まれるが、いつ頃開通予定か。全面開通までの間、自転車、歩行者だけでも通すことはできないか。

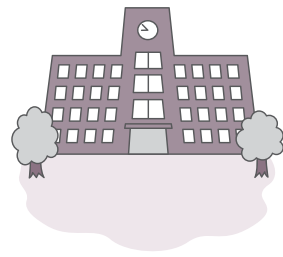
答 将来の道路整備、舗装工事等の計算の中で決定をし、早期に供用開始をするという考え方でいきたい。後段については、協議の中で検討課題ということにさせていた

といった最悪の事態となり、市民の不安はつものるばかりである。早期市民病院経営健全化が望まれるが市長の考え方は決意を伺いたい。

答 院長が決まるまでの間、副院長を中心に医師の幹部会で院内体制を整え、健全化に向けての方策を検討していきたい。

問 小・中学校のいじめの実態はどうなっているのか。いじめを受けて悩んでいる子供たちが発信しているSOSに気づいてあげることが必要である。いじめを早期に発見見抜くポイントをまとめたい

答 「いじめ防止、発見の手引書」の作成こそが急務であり、先生、保護者等が一歩踏み込んで、弱者の心を読み取ることが問題の早期解決につながると思うがいかがか。



問 市民病院が医師不足の影響を含め、赤字決算で厳しい経営状況となっている。そのうえ院長は3月末で退職

7回のミーティングを行い、移転改築の方法ということになっており、中・長期の財政計画、実施計画の見直しの中で整理をさせていただき、今議会中にご報告申し上げたい。(3月28日の諸報告にて報告)

答 いじめの発見チェックリスト、いじめへの対応等の内容を含んだ学校における危機対応ハンドブックを作成しており、研修を通して教職員が共通認識を持ち、一人ひとりの児童生徒への内面理解を深め、いじめの未然防止に努めていきたい。

問 今、医師不足が重大な社会問題になっている。国は医療費の削減のため医師数を減らし続け、日本を世界でも異常な医師不足の国にしてきた。地域によって命の格差を生じない取り組みが必要で、市民病院の医師確保の具体的な方策を求めます。

答 神戸大学へ医師の派遣を依頼していきたい。加えてホームページの広報、医師の処遇の改善、臨床研修の充実といった形で積極的に医師確保を求めたい。

問 視察した香川県の坂出市民病院は、「自治体病院はなんのためにあるのか誰のために医療を行うのか」と病院の生存権をかけた全職員による自主的な意識改革によって「市民が安心して暮らせ、心の支えとなる病院に」を基本理念に掲げている。高砂市民病院も今こそ市民や自治体、病院関係者の英知を結集した病院づくりをめざす事を強く求めます。見解をお聞かせ下さい。

答 市民の病院であるという認識の上に立っていろいろな企画を検討していきたい。

問 市内の母子家庭は国の度重なる法改悪で過酷な生活に追い込まれています。実態によって支援策が必要ではないでしょうか。

平成19年度に実施される子自立支援プログラムの策定を行いたいと考えている。全国一斉学力テストは、実施を民間会社に丸投げするもので個人情報外部に漏えいしない保障はなく、実施を中止し、また学校ごとのテスト結果の公表も中止すべきではないでしょうか。

答 平成19年度に実施される文部科学省の学力調査は、調査結果の公表については、調査により測定できる学力は特定の一部分であること十分認識するとともに、学校間比較を目的に実施するものではないということ十分考えており、今後検討し、公表の可否については、方向性を出していきたい。

問 男女共同参画推進でDV問題を強化し、審議会、市管理職の女性の登用を求めます。

答 心の相談から見えてきた意見、要求の声を把握しながら、推進会議、幹事会で検討し、懇話会で反映できるようにしており、DV被害の相談、保護、自立支援に向け、今後とも関係機関と連携していきたい。女性の登用にについては、男性、女性に限らず有能な者については、どんな登用する。

緊急医療体制について

問 医師不足の大きな問題を抱えているときこそ地域の医療機関である病院、医師会との連携が不可欠である。救急患者の受け入れ体制に集中的な対応が必要ではないでしょうか。

答 開業医との機能の分担、医師会との協力体制を図っていきたい。

国の自治体病院攻撃から住民本位の政策で市民病院を守る

問 全国一斉学力テストは、実施を民間会社に丸投げするもので個人情報外部に漏えいしない保障はなく、実施を中止し、また学校ごとの

一般質問

市政全般に対する一般質問は、高砂市議会では一人15分となっております。2回までの再質問が認められています。

ここではその一部を紹介します。よりくわしい内容については図書館や各公民館に備え付けられている「兵庫県高砂市議会定例会会議録」に収められていますのでご利用下さい。

なお、インターネットでも会議録の閲覧検索が可能ですので、ご利用下さい。

未来に責任を持つ政策実現を

砂川 辰義

◆今年、高砂の将来を見据えて基盤をつくる大事な年である。前市長が、苦勞して取り組んできた行財政改革を踏まえて、高砂市の立て直しに一つの区切り、成果を得た今こそ、高砂市の未来に責任を持つ必要がある。

生活排水対策と合併処理浄化槽の普及推進について

問 汚濁防止や水質浄化などの水環境の整備は、自然共生、循環型社会の形成にとって、その促進が緊要課題である。生活排水対策として、市町村設置型の合併処理浄化槽整備事業導入について伺う。

答 集合処理（下水道）と個別処理（合併浄化槽）についての役割分担の再点検を実施し、経済的、環境的にも集合処理の方が有利というような判断で、現在、下水道処理を進めているのが実態であり、現計画でもって行わせていただきたいと考えている。

子育て支援対策について

問 平成17年度版少子化社会白書には、経済的支援の充実に対する要望が大きい。高砂市としての独自案について伺う。

答 今、非常に財政難の厳しい折、経済的支援については、それぞれ所得制限等々の見直し等々を図ることにより、経費が捻出できれば、新たな事業展開もできるというふうには考えている。今後、十分な研究をすることにより、高砂独自の施策ができればと考えている。

学校教師の現場での実情について

問 教師が多忙なために、100%児童生徒に向き合うことが難しくなっている。生徒に目配り、気配りが行き届いていないと思われる。その実態について伺いたい。

答 社会情勢の変化とともに教師の仕事内容も多岐にわたっており、地域社会の教育に対する関心も高く、様々な形でもってご支援、ご協力

「早寝早起き朝ごはん」の推進について

問 文部科学省が、親と子どもとの豊かな育ちを支援するために展開している「早寝早起き朝ごはん」運動の推進について伺う。

答 子どもたちが健やかに成長していくためには、毎日の生活の中で食べること、眠ること、適度に運動することが大切であると考えている。高砂市では現在、保護者向けの啓発資料「ぐーちよきばー」等を活用し、家庭とともに学習、生活習慣をつけていく取り組みを進めている。今後、家庭との連携のもと子どもたちの基本的生活習慣の確立、生活リズムの向上に努めたい。

公営企業会計についてほか

木谷 勝郎

◆市民病院の赤字が基準を超え、一般会計からの特別繰入れが急務だが、そうなることと事業計画全体に影響する。

問 毎年約8億円繰入れしても資金不足が生じているが、法律上、一般会計からの基準内繰入れ後は独立採算が求められる。今後の繰入れ予定はどうか。

答 基本的には独立採算制でこの市民病院を運営していかねばならないということとは承知している。今後、病院の自助努力による収益確保、支出削減はもちろんのことと医師不足、医療費抑制策等による影響も大きく、不良債務解消については、第4次病院事業経営健全化時と同様、一般会計からの繰り出しも必要と考えている。

問 法律上必要とされる専任管理者が不在で、院長による形式的代理は違法ではないか。

答 地方公営企業法により、合理的、能率的な経営を確保し、経営責任を明確にするため、管理者の設置を原則としている。しかしながら、この規定については強行規定ではなく、同法第13条第1項

の代理規定を受けて、高砂市病院事業管理者の職務代理者の指定に関する規程を定めている。

問 院長名で医師の「異動」を知らせる張り紙があったが、異動とは大学医局内の異動で、院長は市民病院を医局内と誤解しているのではないか。市民病院の経営責任を自覚してもらうには管理者資格の明確化が不可欠ではないか。

答 現在の院長(職務代理者)は、3月末まで在任され、4月以降については、高砂市病院事業管理者の職務代理者の指定に関する規程を4月1日に一部改正し、その中で第2順位を設定する予定である。

問 薬局の院外処方又は営業権を無償譲渡したに同じ。多数軒の薬局の利益相当額の損失に対して責任を問うべきではないか。

答 院外処方への移行については、医師法、薬剤師法にのっとり国のガイドラインに沿って院内会議での検討を重ね実施している。この営業権とは、企業が同業他者に比較して超過収益力を有する場合、それに対する対価として営業権があるとし、これを貸

借対照表に計上できる場合については、有償で取得した場合に限られるため、この院外処方については、営業権の譲渡とは全く異なるものである。

問 市民病院の独立採算が絶対条件だが、再建策を明示すべきではないか。

答 企業独立採算制の見地から、給与体系について他会計との状況を勘案して今後検討していきたい。また診療報酬改定等国の医療に関する動向を注視しながら、施設基準加算適用の見直しを図りたい。また収益性の確保を図るとともにコストダウンを敢行し独立採算制を目指したい。

問 水道事業で、メーター交換を市民負担でさせている例があり、また料金体系も口径別でなく用途別です。近隣市町にないやり方は是正すべきではないか。

答 事業所は親メーターを管理すれば足りるものとし、個別メーターについては、給水装置所有者が管理すべきものとしている。料金体系については、全国的に口径別料金へと移行しており、今後当事業所においても、移行の準備を行っていききたい。

子や孫にツケを回さない政治を

井奥 雅樹

◆再生した坂出市民病院は「変わらなげ」をキャッチフレーズに病院長を先頭に改革した。その成功の秘訣は「仕事の見直し」と思います。縦割りの組織ごとではなく、チームを組んで、接遇などを徹底的に議論していった。高砂市も仕事のあり方の徹底見直しが必要。そうでないとつぶれてしまう。

膨大な計画を組織改変にあわせて見直しを

問 高砂市でたくさんの方のハード事業計画があるが、不可能と思える事業も多い。学校耐震など新しい事業も増えている。積み残しの計画の見直しは。

答 やるべきことはやっていく、しかしながら、できる限り市民の皆さん方との対話を中心として規模縮小、あるいは取り消し等もあり得るような整理をやっていききたい。また、これにあわせた組織の見直しについて、できるだけ横の連携がとれるような組織

づくり、そして十分に見直すだけの陣容といった形で改正したい。

危機的状況の市民病院の見直しを

問 新院長を呼ぶにしてもどうした方針で呼ぶかが必要。市長は縮小路線というが、その中身を明らかにして呼ぶべき。医師確保は現状維持が精一杯、病床数も現在の稼働数が必要。その中で、医療機器の新規購入は基本的にゼロ、看護師の新規採用抑制、夜間救急の見直しなど具体的な規模縮小こそが赤字縮小につながるのではないかと。

答 市民病院の見直しは何を特化するのかということから始まり、それに付随する医療チームを編成する中で、できるだけ限りの必要なのは残していく方向で臨み、最終的には縮小しなければならぬ。病床数の返還については、一たん返還すれば二度と戻ることではないというような覚悟を

もって返還しなければならぬ。最少幾らのベッド数が必要かということも経営の改善を図る中で検討し、結論を出していきたい。夜間救急については、公共の福祉の向上を図るとい自治体病院の使命を踏まえ、医師の確保に努め、でき得る限り市民の生命と健康を守り、救急業務を続けていくために精力的に取り組ませていただきたい。

◆金のない中、「満足はしないが納得をする」よう市民に説明責任を果たすべき。



国民健康保険についてほか

大塚 好子

問 政府は「景気は回復した。」と強調します。確かに大企業はバブル経済期を超える利益を上げています。しかし、多くの庶民は実感がありません。その一方で、大きな社会問題となっている貧困と社会的格差の広がりは大変深刻です。とりわけ国民健康保険の高すぎる保険料、払い

た。たとえ払えない。払えない人からは保険証を取り上げる。これが命の格差まで生み出しています。全国で国保滞納480万世帯、高砂市でも3、500世帯、そのうち短期証1、720世帯、資格証明書268世帯です。病状が悪化してからの受診や手遅れで亡くなるケースが全国で報告されています。市民のいのちと健康が守れない状況を作り出している保険証の取り上げ、資格証明書の発行はやめるべきです。市は22年間3億3千万円という定額繰り入れしかしていません。払える国保料にすべきではないかと思いますが見解をお聞かせ下さい。

答 資格証明書の交付はあくまで滞納者と接触を図るための手段であり、交付者についても病気や怪我など特別な事情が生じたときに窓口等に相談がある場合は、短期証を交付し、徐々に資格証は減少している。また、悪質な滞りな納められない事情があるか実態把握のために臨戸訪問を行い、接触を図っているところである。定額繰り入れ増は、現時点の財政状況では非常に難しい。なお、資格証明書での受診については、医療機関との連携を図っており、受診の際に連絡をいただき、通常の自己負担となるよう依頼している。

子育て支援について

問 35年前から日本共産党は、子供の医療費無料化に取り組んできました。所得制限なしの中学生までの医療費無料化を要望します。

答 19年度において、小学校3年生までの乳幼児に助成対象の拡大を、入院についても中学校3年生までというような拡大を予定している。しかし、中学校3年生まで医療費を無料化する場合には、非常に経費が必要であり、現時点では、財政難の折から非

常に難しい。共働き家庭が増える中、子供が病気になる大変です。病児、病後児の保育の充実を求めます。

問 病時保育施設はないが、病後児保育について、17年9月から市内1箇所の保育所で実施している。

答 JR曾根駅のバリアフリー化と駅周辺整備について

問 曾根駅南側地域の住民にとっては、南側からの乗降とバリアフリー化は長年の悲願です。基本計画があると聞きましたが、今後の見通しをお聞かせ下さい。

答 11年にJR曾根駅整備計画が策定され、現時点において中断している。18年6月に施行された新バリアフリー法にあわせて整備していきたい。現時点において、南側のアクセス道路、歩行者のアクセス、駅前道路の拡幅等の整理を行い、22年度を目指して環境整備計画を立てていきたい。

浸水対策についてほか

北畑 徹也

問 川の流域、鹿島・松村川流域等は浸水に悩まされてきました。地球温暖化がすすみ海面上昇、平均気温上昇のため、台風の強度増、集中豪雨発生等年々襲ってくる自然ハザードに対して、市は浸水対策を早期に確立し、市民の生命、身体、財産を守らねばならない。特に鹿島・松村川流域において、抜本的に高潮対策、河川改修事業整備基本計画を早期に策定せねばならない。それには3部にまたがる事業を統合し、新たな組織編成が必要と考えますがいかがですか。

答 浸水対策を重点的とした組織づくりについて、19年度末予定の機構改革で対応策を考え報告したい。また、防災対策検討委員会が取りまとめた中で、間の川については一定の成果が上がっており、鹿島川についても19年度中に

整備をする。私は以前に墓地整備をすすめるべく一般質問致しました。その後、庁内職員に調査に入った後、様々な理由の結果、ストップ状態と聞いております。荒井地区は区域指定、使用者等の調査、管理台帳の整理等8割程済んでいます。曾根地区、高砂地区は何ら進んでいません。墓域が確定されず無断で墓をさわっているのが現実です。市が墓地利用者の整備台帳を早く定めなければなりません。公共の福祉を守るべき市長のお考えと今後の計画をお示し下さい。

問 曾根墓地について、16年度に自治会の協力のもと現地測量を行い、全体平面図の作成は完了しているが、各墓域の配置図、使用者調査等については未着手である。高砂墓地付近と都市計画道路沖浜平津線の南進計画路線と一部重なります。この関連について将来重要問題になりうと考えます。どの様に取り組みられるのか基本的なお考えをお聞かせ下さい。

答 三菱重工以南の未施工部分については、事業年度、事業主体が決まっておらず、当該道路部分は、墓域の東側において、大きくかわる状況にある。今後、墓地の支障物件等の対応について、事業の具体化が進む中で、関係部局と十分協議し調整していきたい。

お役所の裏ガネ ほか

松本 均

問 昨年の夏以降、岐阜、鳥取、長崎、大阪など各地の自治体で役所の裏ガネづくり、つまり公金の不正が発覚している。「正規に予算化できないが、業務遂行に必要だった」「自由に使えるカネがあれば、何かと役に立つと思った」などと、当事者たちはおかしな弁明をしているが、

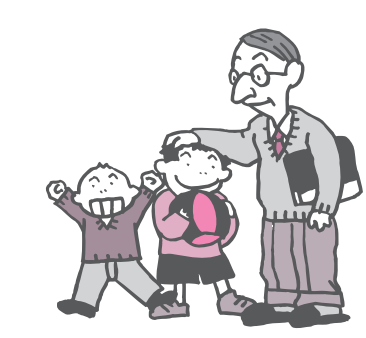
答 酒酔い運転で死亡事故の場合には免職、重篤な障害の場合も免職、障害の場合には免職・停職。また酒気帯び運転で死亡事故の場合には免職・停職、重篤な障害の場合も免職・停職、障害の場合には免職・減給というような種類の基準を厳しく見直している。他市の状況を見ても全て免職という対応があり、これに近い対応をせねばならないと

問 教育基本法改正により、教育改革を推進されることとは当然であるが、京都大学の市村真一名誉教授の唱えら

問 飲酒運転による悪質な事故が、今や社会問題になっている。公務員による飲

問 教育基本法改正により、教育改革を推進されることとは当然であるが、京都大学の市村真一名誉教授の唱えら

問 飲酒運転による悪質な事故が、今や社会問題になっている。公務員による飲



高砂みなとまちづくり構想について ほか

藤森 誠

問 多くの人々が集う魅力ある高砂市をめざし、行財政改革の徹底推進と平行して福祉健康の充実

問 西地区における曾根塩田跡地、船舶係留問題、周辺道路整備、関電跡地利用等の諸問題解決や姫路市との連携を視野に入れた今後の構想実現への行動計画について尋ねる。

問 19年度実施予定の荒井・今市・曾根の町並み保存計画について、各地区のどの区域を景観形成地区に指定するか。また、どのような保存事業を進めるのか。

問 19年度実施予定の荒井・今市・曾根の町並み保存計画について、各地区のどの区域を景観形成地区に指定するか。また、どのような保存事業を進めるのか。

問 19年度実施予定の荒井・今市・曾根の町並み保存計画について、各地区のどの区域を景観形成地区に指定するか。また、どのような保存事業を進めるのか。

問 19年度実施予定の荒井・今市・曾根の町並み保存計画について、各地区のどの区域を景観形成地区に指定するか。また、どのような保存事業を進めるのか。

総務常任委員会 行政視察報告

日 程／平成19年1月30日・31日
 視 察 地／神奈川県座間市、東京都立川市
 調査項目／入札制度及び談合対策について

両市ともに、以前入札における談合事件が発覚、立川市では、市職員の逮捕にまでおよんだ。その後入札制度及び談合防止策を研究し続け現在に至っている。

[主な実施内容]

- ①業者を指名しての入札（指名競争入札）では、業者が特定でき談合がしやすくなる為、一般競争入札（一部条件付）を主に実施し、郵便ではなく、コンピューターによる電子入札を導入している。
- ②市内小規模業者の受注や雇用機会の確保及び拡大を目的に「小規模工事等発注希望者登録制度」を導入している。
- ③予定価格・最低制限価格を公表することによって、職員による価格漏洩を防止し、業者との癒着をなくすようにした。
- ④何よりもまず、職員の意識改革を行っている。法令遵守に努め、名札に標語を掲げ常に意識付けを行っている。

入札制度や談合防止は、常に一步先を考え対処していかなければなりません。この方法が完璧であるというのが無く、なかなか困難な問題ではあります。しかしながらこれらを改善することによって、安価で質の良い工事等が可能になるわけですから、常に法令遵守を心がけ、馴れ合いにならないように、厳しい態度で事に当たることが第一であります。他市の良い所は、条件的に異なるところはありますが、高砂市においても取り入れられるものは取り入れ、常に意識して考えていかなければなりません。

文教厚生常任委員会 行政視察報告

日 程／平成19年1月29日・30日
 視 察 地／福岡県福岡市・春日市
 調査項目／「いじめ問題」「学童保育」

「いじめ問題」福岡市教育委員会

福岡市教育委員会が、いじめ問題の急増を受けて、「いじめ緊急対策等担当課長」のポストを新設したとの日本教育新聞の報道を受け、福岡市を訪問した。

福岡市教育委員会では、いじめ問題など問題が生じた場合には、すぐに学校に駆けつけて指導対応できるような学校支援体制が構築されていた。またいじめ防止の資料として、いじめ発見のチェックリストやいじめに対する指導や教師の態度また校内組織・相談機関を含めた冊子を作成し、各学校に配布し、研修等を実施していた。

また福岡市は教育相談滞在施設という泊り込みで緊急的な生徒指導に対応できる施設を独自に整備しており、高砂市でも教育問題が多発する現状のなか、そのような施設整備が必要ではないかと感じた。

「学童保育」春日市福祉社とNPO法人子ども未来ネットワーク春日

人口規模が高砂市と同等の春日市の学童保育の実態を視察した。春日市では、小学校内にログハウスによる専用施設などを設置して、NPO法人に委託していた。高砂市よりも学童保育の利用者も多く、また障がい児等も利用できるように施設も改良され、指導員も多く配置されており、子ども達が、快適に利用できるような環境整備がなされていた。

建設経済常任委員会 行政視察報告

日 程／平成19年1月29日・30日
 視 察 地／山口県宇部市、広島県安芸地区
 調査項目／「宇部市環境保全センターごみ処理施設」

流動床式ガス化溶融炉 130t/日 (65t/日×2基)、荏原製作所、平成14年11月竣工、かし担保期間（欠陥等がある場合補償を求めることが出来る期間）5年間

「安芸地区クリーンセンターごみ処理施設」

流動床式ガス化溶融炉 198t/日 (66t/日×3基)、神戸製鋼所、平成15年2月竣工、かし担保期間5年間

[視察の目的]

高砂市のごみ処理施設は、平成15年3月の竣工で、かし担保期間（5年）の期限が明年3月末となっております。本市の施設は運転に関するトラブルや運転経費が契約時の覚書の性能保証を大きく上回っていることから、焼却方式、処理能力、竣工時期が同じような施設を調査、研究し、今後の施設の改善や、かし担保期間の終了の期限を控えて、施工業者であるバブコック日立との交渉に役立てたい。

[視察の結果]

宇部市の場合、施設の運転はメーカーの指導の下、直営で実施、運転トラブルは平成15年より11回で助燃の灯油が必要なのは7回、その他、小トラブルは非常に多い。運転経費は3,688円（ごみ1トン当たり）。高砂市は4,020円・平成18年4月～12月）、安芸地区クリーンセンターは施設の運転をメーカーの子会社の神鋼ソリューションに委託しています。3日以上停止故障は5回と少ない。運転経費は3,149円です。

またこの2施設の担当者からは、かし担保期間が近づいているにも拘わらず、あまり緊張感が感じられませんでした。（本市の場合は作業環境でダイオキシン濃度が第二管理区域になって、現在も改善に取り組んでいます。）

[今後の取り組み]

当委員会としても、市民の大切な財産であるごみ処理施設がまず、かし担保期間中に円滑な運転とコストの削減、良好な環境保全の確保が出来るようしっかり取り組んで参ります。

「高校教育改革第2次実施計画」は地元自治体・住民の意見を十分に聞き、合意のもとで策定することを求める意見書

兵庫県教育委員会は、国際化・情報化などの社会の変化や少子化の進展、高校進学率の上昇に伴う生徒の多様化等から、平成12年度から平成20年度にかけて、学びたいことが学べる魅力ある学校づくりを目指して、総合学科、全日制普通科単位制、専門学科等の設置、高校の規模と配置、選抜制度変更等の「高校教育改革第1次実施計画」を実施している。そして、さらに効果あるものとして定着させる為に、今後は、一層各学校での教育内容の充実や教員の意識改革等を図っていく等の「高校教育改革第2次実施計画」を年度内に策定しようとしている。

しかし、「第1次実施計画」において、地元自治体・住民の意見を十分に協議せずに行っており、統廃合や改編、学区再編成について、多くの課題を残す結果となっている。

よって、兵庫県教育委員会においては、下記の事項について早急に検討することを強く要望する。

記

- 1 高校教育改革第2次実施計画の策定にあたっては、地元自治体・住民の意見を十分に聞き、その合意のもとで行うこと。
- 2 学区の拡大は行わないこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

2007年(平成19年)3月27日

高砂市議会

選挙

兵庫県後期高齢者医療広域連合議員

岡 恒 雄

人事

監査委員を選任するにつき同意いたしました。

高砂市米田町

朝 家 修

本会議・委員会はどこでも傍聴できます。

高砂市議会の本会議、各常任委員会及び特別委員会はどなたでも自由に傍聴できます。

本会議の場合は傍聴席前に、委員会の場合は委員会室前に備え付けた傍聴人受付票に必要事項を記入し、受付箱に投入していただきます。

本会議の内容については、市役所内のモニターテレビの中継や、市立図書館及び公民館に備え付けの会議録などで知っていただくことができます。またインターネットでの会議録検索や、本会議映像の提供も行っております。

次の定例会は6月に開会の予定ですので、日程その他詳しいことは**443-9051**(議会事務局)までお問合せください。